全国建設青年会議

第31回全国大会

THE 31st NATIONAL CONFERENCE

The Sustainable Management and future with All for All

～地域を支え、貢献し続ける地域建設業へ～

KEYWORDS

持続可能
地域建設業
人材確保・育成
情報発信
稼ぐ



CONTENTS

目次

The Sustainable Management and future with All for All

P03 この大会で社会に伝えたいこと

P04 タイムスケジュール

P05 基調講演 国土交通省 廣瀬技監

基調講演　デミー博士

P06 登壇ディスカッション①
「人が集まる地域建設業へ ～選ばれる会社、変わる業界、その先へ～」

P07 登壇ディスカッション②
「持続可能な地域建設業へ ～ 地域を支える「稼ぐ力」～」

P08 全国建設青年会議設立趣旨

MESSAGE

The Sustainable Management and future with All for All

この大会で社会に伝えたいこと

人口減少や担い手確保が進む中、道路、河川、橋梁などの
日常的な維持管理や、地震・豪雨等の災害発生時に最前線で
地域を守る地域建設業の役割は、今後ますます重要になります。

一方で、地域建設業そのものが持続できなければ、
地域のインフラや防災力を将来にわたって維持することは
できません。第31回全国大会では、「人が集まり、働く人から
選ばれる建設業になること」「人を育て、技術を次世代へつなぐこと」
「適正に稼ぎ、その利益を人や技術へ投資すること」を、
10年後、20年後も地域を支え、貢献し続けるための
重要な課題として議論します。

この大会のキーワードは「持続可能」「地域建設業」
「人材確保・育成」「情報発信」「稼ぐ」です。

KEYWORDS

- 持続可能
- 地域建設業
- 人材確保・育成
- 情報発信
- 稼ぐ

SCHEDULE

タイムスケジュール

The Sustainable Management and future with All for All

日時　令和8年12月4日(金)

(1)　第31回全国大会　13:30 ～ 17:10

13:30 ～ 14:00	開会式典 (主催者挨拶・来賓挨拶・来賓紹介等)
14:00 ～ 14:30	国土交通省 廣瀬技監による基調講演
14:40 ～ 15:10	デミー博士による基調講演
15:20 ～ 16:05	登壇ディスカッション① 人が集まる地域建設業へ ～選ばれる会社、変わる業界、その先へ～
16:15 ～ 17:00	登壇ディスカッション② 持続可能な地域建設業へ ～地域を支える「稼ぐ力」～
17:00 ～ 17:10	閉会式典 (大会宣言等)

(2)　大石久和様　感謝の式典　17:15 ～ 17:30

LECTURE

基調講演

The Sustainable Management and future with All for All

基調講演

国土交通省

廣瀬昌由 技監



地域を支え、未来を創る建設業

～これからのインフラ整備と地域建設業への期待～

国土強靭化や老朽化への対応をはじめとするこれらのインフラ整備、ＡＩ活用による建設産業の進化、担い手の確保・育成、地域の守り手である地域建設業に期待される役割と今後の方向性などについて。



基調講演

長崎大学

デミー博士（出水 享 氏）

持続可能な建設業への問い

～モヤモヤと違和感～

建設業の役割や魅力を社会、特に若い世代へどう伝えるのか。土木の日 SNSアクションを活用した情報発信、建設業のイメージ向上、人材確保につながる発信のあり方などについて。

PANEL DISCUSSION 01

登壇ディスカッション①



ファシリテーター
デミー博士
長崎大学（出水 亨 氏）



北海道ブロック
北海道
井野 克彦 氏



北陸ブロック
石川県
寺田 道生 氏

人が集まる地域建設業へ

～選ばれる会社、変わる業界、その先へ～



関東ブロック
茨城県
高橋 拓也 氏



近畿ブロック
京都府
中川 将人 氏

DISCUSSION

人材確保・育成、情報発信を大きなテーマとしながら、単に「どう人材を確保するのか」だけではなく、地域建設業がこれからどのように変わっていくべきかを考えます。各社の取組や課題を通じて、若い世代から「選ばれる会社」そして「選ばれる業界」になるために何が必要なのか。さらに、一企業の取組を越え、行政や教育機関との連携も含め、10年後、20年後も地域を支え続ける建設業のあり方を議論します。

PANEL DISCUSSION 02

登壇ディスカッション②



ファシリテーター
デミー博士
長崎大学（出水 亨 氏）

東北ブロック
山形県
白岩 至 氏

中部ブロック
愛知県
高木 賢一朗 氏

中国ブロック
島根県
大畑 雅敬 氏

九州ブロック
沖縄県
金城 卓 氏

持続可能な地域建設業へ

～地域を支える「稼ぐ力」～

DISCUSSION

地域建設業にとって「稼ぐ」とは、単に企業の利益を追求することではありません。適正な利益を確保し、それを賃上げや人材育成、ICT・DX、設備投資などへ還元することで、企業の施工力や災害対応力を維持し、地域を支え続ける力につなげていくことが重要です。地域建設業はどうすれば「稼ぐ力」と高めることができるのか。そして、得られた利益を人・技術・地域の未来へどうつなげていくのかを議論します。



PURPOSE

全国建設青年会議 設立趣旨



全国建設青年会議は、地域の建設産業を取り巻く
中長期的な課題を解決するため、発注機関と連携しながら、
建設青年人ならではの行動力を活かした主体的な取り組みを
実施・継続することにより、地域と国土を守り、社会の繁栄に貢献する。

平成27年12月

設立経緯

平成９年12月、建設省（現国土交通省）の各地方建設局（現地方整備局）を単位ブロックとして、青年経営者の連合組織として発足しました。全国規模の交流の場として、「建設青年懇談会・全国交流会」の名称でスタートし、平成12年9月に現在の「全国建設青年会議」と名称変更しました。

設立時の趣意書

我が国の住宅・社会資本の整備水準は、欧米諸国と比較して未だ立ち後れており、豊かさが実感できる安全でゆとりと潤いのある生活を実現するためには、人口構成比が少しでも若く、貯蓄率が高いうちに積極的に整備を推進することが必要である。

また、我が国は水害、土砂災害、震災等に対して、厳しい自然条件、社会条件があり、それぞれを克服し、安全で安心できる国民生活の実現が求められている。

さらに、我が国は国際化・産業の空洞化が進むなかで、経済構造改革に必要な住宅・社会資本整備の推進、高コスト構造の是正、国際的に魅力ある事業環境の創出を図ることが重要な課題となっている。

このような状況のもとで、これら社会資本整備の担い手である建設業の果たす役割は大きいものがある。しかし、建設業界を取り巻く環境は、かつてないほど厳しいものになっており、長引く不況、巨額債務、公共工事の削減、また、建設業界の不祥事など多様かつ多くの課題を抱えている。

そこで、建設事業の抱える課題を一緒に考え、21世紀に向けての建設事業の発展に寄与し、地域の活性化を図るために、我々全国の建設業の経営に参画する青年たちは、ここに「建設青年懇談会全国交流会（仮称）」を設立しようとするものである。

平成9年12月



主幹

四国建設青年会議

全国建設青年会議（9ブロック）

北海道建青会
東北建設業青年会
関東建設青年会議
中部建設青年会議
北陸建設青年会議
近畿建設青年会議
中国地方建設青年交流会
四国建設青年会議
九州建設青年会議